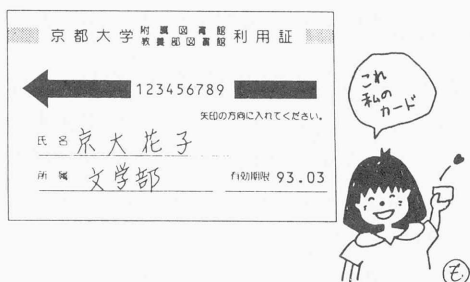


カードの発行申請・交付は、附属図書館の受付カウンターで、月～金曜日の9時～11時45分、13時～16時45分に受け付けています。(資料運用掛)



図書館利用案内ができました

利用者のみなさんに図書館をよりよく利用していただく為に、下記の小冊子を作成しています。

*新入生のための Library Guide 1992

新入生が一番利用する機会が多いと思われる教養部図書館と附属図書館を中心に説明しています。図書や雑誌のさがし方の他、参考図書(レファレンス・ブック)や語学学習のためのAVブースの利用についても案内しています。

なお、5月からの土曜日の時間変更にはふれておりません。ご注意ください。

*利用のしおり 1992/93

教官・院生を対象として配布しています。学内すべての図書館(室)の利用案内となっています。特殊文庫、大型コレクションの案内の他、学内にある主な二次資料、学外の主なサービス機関を紹介しています。

*利用案内 1992

「利用のしおり」から附属図書館の説明だけを抜き出したものです。

* A User's Guide to the

Kyoto University Library 1991/92

留学生を対象とした附属図書館の案内です。

この他見学者のために、「京都大学附属図書館概要 1989/90」を用意しています。(参考調査掛)

文献複写の入手がはやくなります

平成4年4月1日からNACSIS-I L L(学術情報センター Inter-library Loan)システ

ムが開始されました。NACSIS-I L Lシステムとは、図書館間で実施している文献複写・現物貸借に係る業務のうち、所蔵調査及び通信・連絡に係る部分をオンラインで行うというものです。

従来は、文献複写・現物貸借の申込み時にカウンターで利用者に記入してもらった申込用紙自体を受付相手館に郵送していました。このI L Lシステムでは、担当者が、まず利用者の記入した申込書をもとに端末に書誌事項を入力して、所蔵館を検索します。つぎに受付相手館を指定したのち、申込者氏名等を入力するという手順で依頼レコードを作成して、このレコードを送信します。

この方法によれば、申込館では切手、封筒が不要となります。また、送信すると同時に、受付館では直ちに受付できる状態になりますので、郵送日数の節約にもなります。

このシステムの最大のメリットは、謝絶レコードの自動転送にあります。従来の方法では、受付館が欠号・貸出中等の理由で依頼に応じられない場合、謝絶通知を申込館に郵送します。その後、通知を受け取った申込館では、所蔵館を再調査した後、新たに申込書を作成し郵送していました。

しかし、新しいシステムでは、端末での所蔵検索と依頼レコードの作成時に受付相手館を複数指定しておくことにより、最初の受付館で謝絶されたとき次候補館に自動的に依頼レコードが送られるようになっています。

このように、I L Lシステムの導入によって、申込館はより速くより確実に、求める文献を手に入れることができるわけです。

平成4年5月末現在、京都大学内では下記の図書館(室)がこのシステムに参加していますので、ご利用ください。なお、カウンターでの申込方法は従来と同じです。

【文献複写】

附属図書館(依頼・受付)

教養部図書館(依頼・受付、今秋から参加予定)

化学研究所図書室(依頼)

原子炉実験所図書室(依頼)

【現物貸借】

附属図書館(依頼・受付)

(相互利用掛)